

会社概要

会社名 住江織物株式会社 Suminoe Textile Co., Ltd.
本社所在地 〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号
創業 1883年(明治16年)
合資会社創立 1913年(大正2年12月25日)(住江織物合資会社)
株式会社設立 1930年(昭和5年12月26日)(住江織物株式会社)
資本金 95億5千4百万円(2023年5月31日現在)
役員
 取締役社長 永田 鉄平(代表取締役)
 常務取締役 薄木 宏明(代表取締役)
 常務取締役 丸山 敏朗
 取締役 木村 栄一郎
 取締役 村瀬 典久
 社外取締役 清水 春生
 社外取締役 野村 公平
 社外取締役 種田 ゆみこ
 社外取締役 澁谷 裕子
 常勤監査役 市川 清一
 社外監査役 園田 篤弘
 社外監査役 片山 貴文
 (2023年8月30日現在)
従業員数 260名(連結グループ2,779名 国内1,618名 海外1,161名)
 (2023年5月31日現在)

研究・技術開発、製造、販売、各エキスパートが緊密に連携し、グループの持つ力を最大限に活かす——これがSUMINOE GROUPの最大の強みです。

販売 お客様のニーズへ的確に 応えられる提案力	<ul style="list-style-type: none"> ● スミノエ ● 住江織物(産業資材事業部門) ● 住江織物(車両資材事業部門) ● 住江織物(機能資材事業部門) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ルノン ● スミノエワークス ● スミノエ テイジン テクノ ● PT. Sinar Suminoe Indonesia 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住江織物(インテリア事業部門) ● プレテリアテキスタイル ● 住江織物商貿(上海)有限公司 ● 蘇州住江織物有限公司 	<ul style="list-style-type: none"> ● シービーオー ● 住江物流 ● 丸中装栄
	製造 高い品質、低コストで安定的に 供給できる生産技術力	<ul style="list-style-type: none"> ● 住江テクノ(滋賀工場・奈良工場) ● 丹後テクスタイル ● 住江織物(京都美術工芸所) ● ソーイング兵庫 ● 帝人テクロス ● 尾張整染(本社工場・石川工場) ● 関織物 ● インテック 	<ul style="list-style-type: none"> ● Suminoe Textile of America Corporation ● Bondtex, Inc. ● Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V. ● T.C.H. Suminoe Co., Ltd. ● Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd. ● PT. Suminoe Surya Techno ● Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司 ● 蘇州住江小出汽車用品有限公司 ● Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.
研究・技術開発 マーケットトレンドをおさえた 機能・意匠開発力	<ul style="list-style-type: none"> ● 住江織物(技術開発センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ● スミノエ テイジン テクノ(開発センター) 	検査・試験 試験事業者登録制度(JNLA)の 登録事業者独立性を保つ試験機関	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西ラボラトリー

● インテリア内装材事業 ● 自動車内装材事業 ● 鉄道・バス・船舶・航空機内装材事業 ● 機能性資材事業 ● 全ての事業

CORPORATE PROFILE
2023 - 2024

創業からの信頼を礎に、 これからもあらゆる空間に イノベーションを



代表取締役社長
永田 鉄平

SUMINOE GROUPは1883年大阪住吉で創業して以来、手織緞通(ておりだんつう)から鉄道用椅子張地、自動車用内装材から新たな製品へと、少しずつ事業を拡大しながら、お客様にインテリアのある空間を通じて暮らしの豊かさや快適さを提供してまいりました。近年では、グローバル展開のほかにも、繊維製品や繊維に対する技術開発に加え、合成皮革や樹脂配合・成型技術に基づく製品開発など、非繊維分野にも積極的に取り組んでおります。創業140周年となる2023年、**SUMINOE GROUP**としてのグループ理念を策定しました。この理念のもと、一体感と求心力をもってあらゆる空間にイノベーションを起こし、よろこび広がる未来の暮らしの実現を目指してまいります。



シーホースマークの意味

住江織物のロゴを活かすことで、伝統を引き継ぎ未来(前)へ胸を張って向かっていく様子をシンボル化。4つの光は、海のきらめきに重ねると同時に空間をつくる「4つの事業」、そして世界の四方へ広がる意味も兼ねています。

グループ理念

VISION

わたしたちの目指す未来

時代や地球と調和する
「新しい快適のスタンダード」を織りあげ
よろこび広がる未来の暮らしをつくる。

MISSION

わたしたちが果たすべき使命

暮らしに寄り添う技術とアイデアで
人と社会にやさしい空間を
世界中へ。

SPIRIT

わたしたちが大切にしている価値観(社訓)

業界の先駆者としての
誇りをもち、和協、誠実、
不屈の精神をつらぬく。

VALUE

SUMINOE "4C" Values

事業活動の基本指針

Challenge

業界の先駆者としての高度な技術力と幅広い顧客基盤を礎に、新たな事業展開にチャレンジする。

Create

独自の技術を掛け合わせ、新しい価値を創造する。

Customer

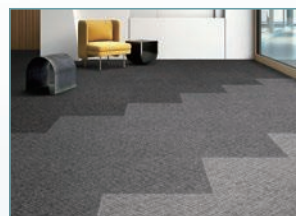
顧客に誠実に寄り添う力と先見性をもとに、新たな課題を抽出し開発に活かす。

Contribute

人にも地球にもやさしいモノづくりをこれからも追求し続ける。

水平循環型リサイクルタイル カーペットECOS®(エコス)

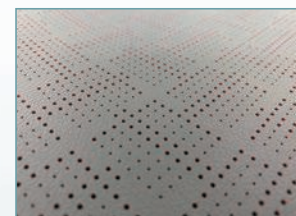
業界最高水準の再生材比率と
CO₂削減貢献率を実現した
リサイクルタイルカーペット。



空気を洗う壁紙®

悪臭原因物質を半永久的に
吸着・分解し、消臭する、安全性に優れた
24時間サイクル消臭の壁紙。

意匠性シート表皮材
パーフォレーション合成皮
無機質になりがちな通気孔に
色の変化と柄の意匠性を付与した
パーフォレーション合成皮革。



自動車用吸音カーペット

吸音性能や遮音性能を施し、
車内の静粛性を
高めるフロアカーペット。

シートクッション材 スミキューブ®

火災燃焼時の安全性と軽量が特長。
様々な座席に採用されており、使用後は
回収・再利用する技術が確立されている、
新しいクッション材。



床表示フィルム

簡易施工可能な防滑マット。
鉄道・バスの出入口や車内の事故防止・
注意喚起のための表示フィルム。

浴室床材
環境にやさしいオレフィン素材を
シート状に成形。ヒヤッとせず、
柔らかい床材で、ヒートショック現象
にも効果のある、安心安全な商品。



消臭フィルター

インテリア商品で培った独自消臭技術
を応用し、消臭フィルターを開発。
冷蔵庫、空気清浄機、家庭用置き型
脱臭・消臭剤等で用途を拡大。





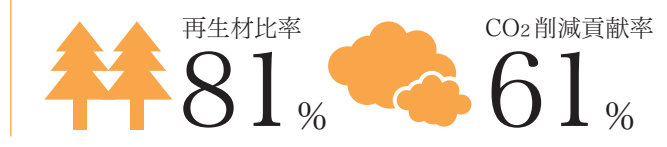
Our Only One

世界最高水準の再生材比率81%

さらに進化した「ECOS NEO™」シリーズ

「ECOS NEO™(エコスネオ)」シリーズは、裏面のECOS®パッキングに加えて、パイル表面にリサイクルナイロン75%を使用した原液着色ナイロン糸を採用することで、世界最高水準の再生材比率81%、CO₂削減貢献率61%*を実現した水平循環型リサイクルタイルカーペットです。

* ECOS NEO™ EX の場合。2023年3月現在自社調べ



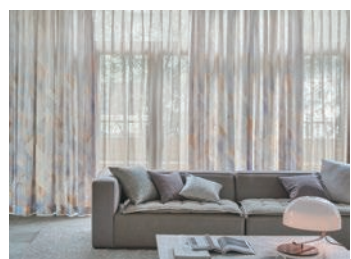
インテリア内装材事業

ライフスタイル創造の最先端。

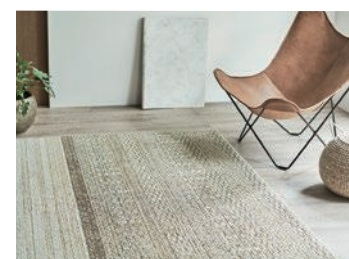
1891年の帝国議会議事堂開設時に絨通を納入して以来、日本のインテリアの先駆者として快適で安心な室内空間を創造してきました。現在は、株式会社スミノエがカーテン・カーペットを、ルノン株式会社が壁紙・ふすま紙を主力に、公共施設、ホテル、学校、病院、オフィスから、一般のご家庭に至るまで、デザイン性と機能性を兼ね備えたインテリア商品を幅広く提供しています。

近年では、K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)のテーマのもと、環境にやさしい商品づくりに取り組んでいます。

商品紹介



カーテン:『mode S(モードエス)vol.10』



ラグ・マット:『HOME® RUG MAT 2022-2023』



業界トップレベルのリサイクルタイルカーペット:『ECOS NEO iD-1400』



壁紙:『ルノンホーム 2020-2023』 CRAFT LINE®

絨帳(どんちょう)とは:舞台と客席を区切る幕。当社では、職人の手で織り上げる最高峰の「綴織絨帳」、フックド・ラグ製法による「丹後絨帳」、電子ジャカード機で織り上げる「スミノエアート絨帳」、友禅の技法を応用する「友禅絨帳」、高画質のデジタルダイレクトインクジェット技術の「ナッセンジャープリント絨帳」等、幅広く製作しています。



綴織:『綴織絨帳』 アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)

絨通(だんつう)とは:手織りの高級敷物。当社では天保年間に大阪堺で織り始められた「堺式絨通」の流れを汲む「手織絨通」と、フックド・ラグ製法による「丹後絨通」を製作しています。

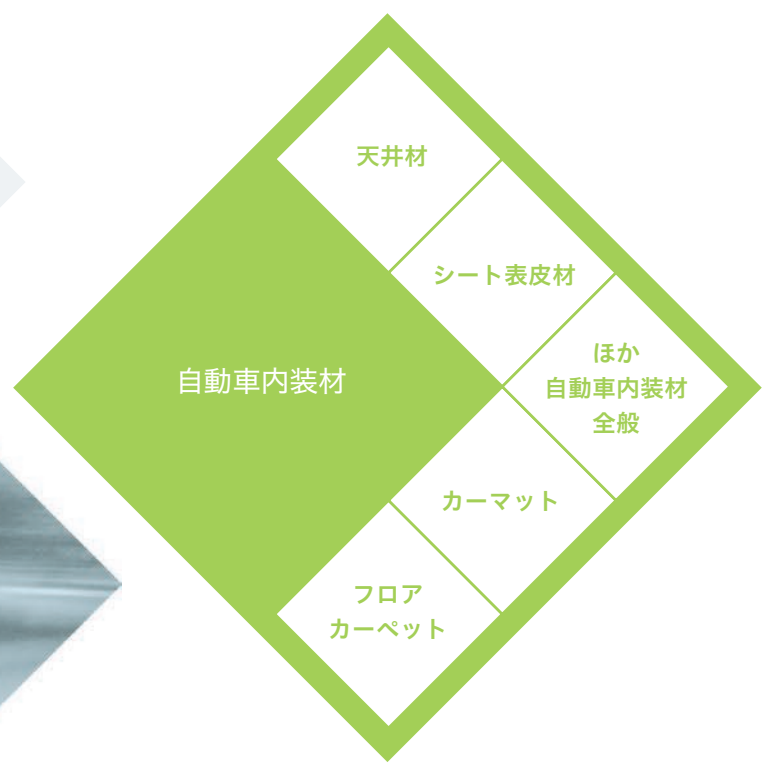


別注カーペット:『ウィルトンカーペット』 東京ステーションホテル 2Fレストラン プランルージュ

グループ会社

- ① 株式会社スミノエ
- ② ルノン株式会社
- ③ 住江物流株式会社
- ④ 株式会社スミノエワークス
- ⑤ 株式会社ソーイング兵庫
- ⑥ 丹後テクスタイル株式会社
- ⑦ 株式会社シーピーオー
- ⑧ 株式会社プレテリアテキスタイル



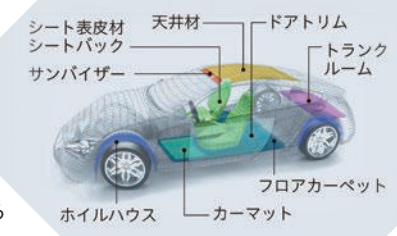


Our Only One

グローバルサプライヤー

自動車内装材の足元から天井まで

シート表皮材では新素材での提案を積極化するとともに、当社が今まで取り扱っていなかった部位を繊維素材化することで製品の供給範囲を拡げ、トータルサプライヤーとしてビジネスの多角化を進めています。また、日系自動車メーカーのグローバル展開に連動し海外拠点を拡充しています。



日系的全メーカーへの供給

自動車内装材事業

トータルサプライヤーとしての提案力。

1931年、日本で組み立て生産をしていたフォード、ゼネラルモーターズにカーペットとシート表皮材を納入。戦後、生産が拡大した国産自動車に当社製品が次々と採用され、現在ではすべての日系自動車メーカーに納入しています。天井材、シート表皮材、カーマット、フロアカーペットなど、足元から天井まで自動車内装材をトータルで供給できるのが当社の最大の特長です。日本国内だけではなく、米国、メキシコ、中国、タイ、インドネシア、インドの海外6カ国11拠点に製造・販売拠点を拡げ、世界最適供給体制を目指しています。

実績紹介



トヨタ「ハリアー」



ホンダ「ZR-V」



マツダ「CX-8」

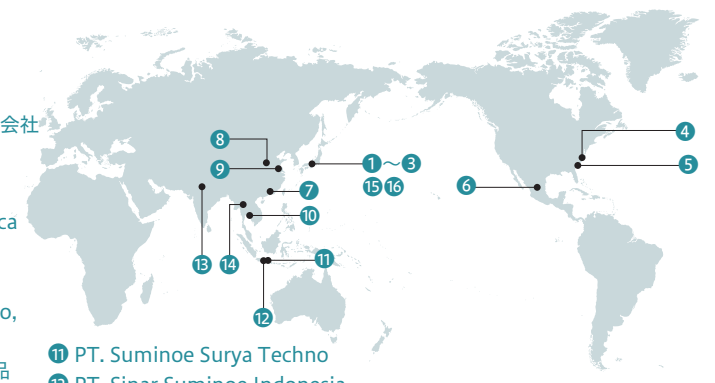


トヨタ「ノア」



グループ会社

- ① スミノエ テイジン テクノ株式会社
- ② 帝人テクロス株式会社
- ③ 尾張整染株式会社
- ④ Suminoe Textile of America Corporation
- ⑤ Bondtex, Inc.
- ⑥ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ⑦ 住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司
- ⑧ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑨ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑩ T.C.H.Suminoe Co., Ltd.
- ⑪ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑫ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑬ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd. (持分法適用会社)
- ⑭ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑮ 住商エアバッグ・システムズ株式会社
- ⑯ 株式会社ケイエステイ



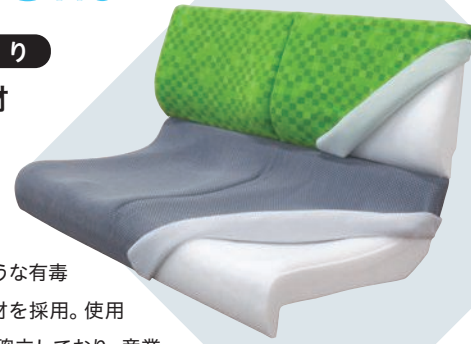


Our Only One

安全で快適な車両づくり

シートクッション材
「スミキューブ®」

ポリエステル製シートクッション材「スミキューブ®」は、火災発生時にシアンガスのような有毒ガスが発生しない安全な素材を採用。使用後に回収・再利用する技術を確立しており、産業廃棄物ゼロを目指しています。JR・私鉄や公共交通の通勤車両だけでなく、より高度な快適性が求められる特急や新幹線にも幅広く採用されています。



JR東日本：E235系

シートクッション材
シェア36%

鉄道・バス・船舶・航空機内装材事業

パイオニアとしての信念。

1896年、日本初の手織りによるシートモケットの製造に成功し、1899年、国鉄（現JR）のシート表皮材に採用されました。それ以降、JR、私鉄、公営交通に納入し、1世紀以上にわたりトップシェアを誇っています。現在では、新幹線、電車、バス、船舶、航空機等の公共交通機関に、シート表皮材やカーテン、壁装材、床材に至るまで内装材をトータルで提案。また、安全性・環境性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等、環境にやさしい製品を納入しています。

実績紹介



北陸新幹線
シート表皮材・ロールスクリーン



JR東海 特急ひだHC85系
シート表皮材・スミキューブ®・
カーテン・カーペット



全日本空輸(ANA) ボーイング777-300ER
プレミアムエコノミークラス
シート表皮材



三岐鉄道 連節バス
シート表皮材・床材



京浜急行電鉄 1000形
シート表皮材

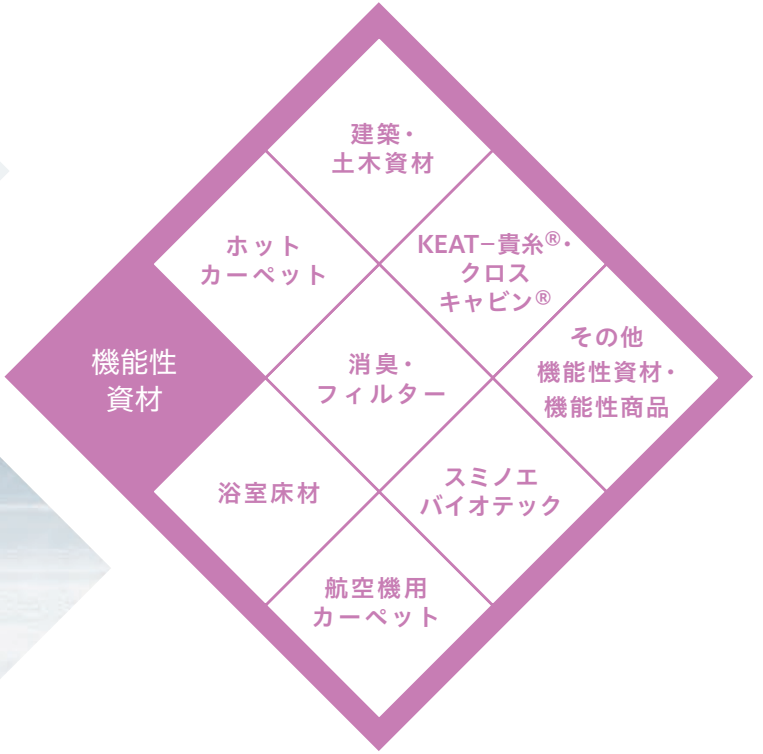


西武鉄道 4000系
シート表皮材・スミキューブ®

グループ会社

- ① 丸中装栄株式会社
- ② 関織物株式会社





Our Only One

独自消臭加工技術 トリプルフレッシュ®

異分野への用途開発で可能性を追求

インテリア商品で展開していた独自消臭技術を、空気清浄機等の家電機器用消臭フィルターをはじめ、ウェア、シューズ、医療・介護等の異分野で積極的に活用。また、樹脂フィルム等、繊維とは異なる素材でも用途開発を推進することで、消臭技術の可能性を追求しています。



💡 多様な用途開発

機能性資材事業

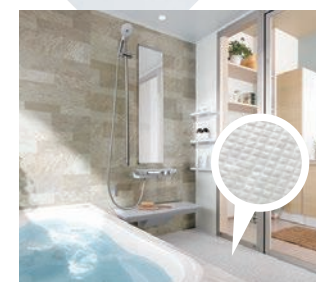
無限の事業可能性を追求。

インテリアや自動車・車両内装といった従来の事業領域に捉われない分野や業界をターゲットに事業を展開。トリプルフレッシュ®消臭フィルターやオレフィン素材による浴室床材等、これまで当社が培ってきた独自技術を応用した商品展開のみならず、K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)のテーマのもと、バイオテクノロジーに基づく機能性素材(スミノエバイオテック)といった分野でも新しい価値を提供しています。

製品紹介



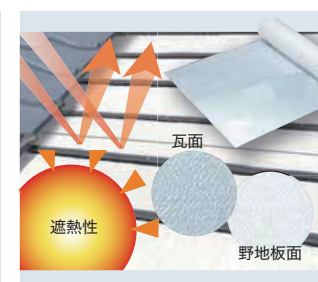
ホットカーペット
ホットカーペット・電気毛布等の繊維系暖房素材。



浴室床材
環境にやさしいオレフィン素材を用いた浴室床材。



Tispa®シリーズ
「香りでごまかさないうちの消臭」消臭フィルターを使った家庭用の置き型脱臭・消臭剤。



ルーフィング材
透湿性・遮熱効果があり、省エネ性に優れた一般家屋の屋根防水用シート。



KEAT-貴糸®
化粧筆・画筆・筆ペン向け特殊ポリエステル糸。



航空機用カーペット
国内大手エアライン各社に納入しており、国内シェアNo.1。



クロスキャビン®
高機能な網戸向け素材。
※クロスキャビンは帝人フロンティア株式会社の登録商標です。



スミノエバイオテック
バイオテクノロジーに基づく機能性素材及び素材を活用した食品・加工食品・化粧品等。

グループ会社

- ① 蘇州住江織物有限公司
- ② Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.



イノベーションの生まれる場所。

SUMINOE GROUPの研究・技術開発の要である技術開発センターは、世界遺産に登録されている法隆寺に近い奈良県の大和盆地にあります。静かな環境のもと、若い技術スタッフが中心となって、イノベーションを生み出すための開発に取り組んでいます。

技術開発センターが掲げる開発のキーワードは、「K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)」。繊維に対する独自の機能性加工技術と樹脂配合・成形技術を二本柱として、各事業と連携しながら、KKR+Aの具現化を目指しています。

今後も技術でSUMINOE GROUPの確かな信頼を支え、新分野にも挑戦し続けます。



Topics

技術開発センター新設

2021年12月、SDGsを推進し、つくる立場・つかう立場を考え、商品開発の新規性と開発力のスピードアップを図るために誕生しました。



社内抗菌試験装置の導入

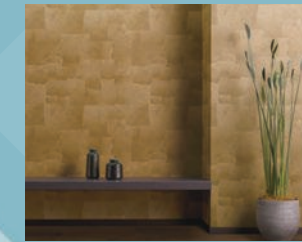
抗菌・抗ウイルス加工商品の開発に取り組んでいます。迅速に性能評価できるように抗菌試験装置を導入し、評価技術を習得しました。



消臭技術

さまざまな分野で活躍するトリプルフレッシュ®

1998年にシックハウスの原因となったホルムアルデヒドを吸着分解する「トリプルフレッシュ®」を開発。時代に先駆け、各分野に対応した消臭技術へ進化し、カーペットやカーテン、壁紙のみならず自動車内装材、鉄道車両用シート表皮材、消臭フィルター等で活用されてきました。現在では、排せつ臭や体臭の消臭効果を高め、医療・介護向け商材にも展開しています。また消臭に関する高度な分析・評価設備も多数保有しています。



消臭壁紙(インテリア内装材事業)

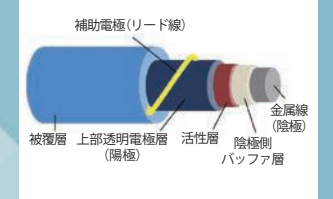


家庭用脱臭・消臭剤(機能性資材事業)

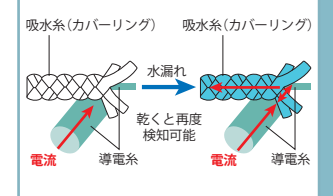
スマートテキスタイル

発電繊維や水濡れ検知布などでセンサーファブリック分野へ

NEDO事業のプロジェクトに採択され、産学連携で繊維/布型太陽電池を開発しました。ウェアラブルデバイスや室内環境測定センサーの自立電源として需要が見込まれています。その他にも水濡れ検知布や布帛電極などとともに、センサーファブリックとして介護・見守り分野や運動中の健康管理といった分野での商品化を目指しています。



太陽光発電繊維



水濡れ検知布の基本原理解

オレフィン系素材の配合、成形技術

高機能化したオレフィン系素材を多様な形状に

オレフィン系素材は燃焼時に発煙量や有毒ガスの発生が少なく、人と環境にやさしい素材です。当社は独自のナノコンポジット技術を駆使し、オレフィン系素材を用いた高機能な製品を開発し、現在では、鉄道車両やバスの床表示フィルムのほか、鉄道車両用ドアの芯材、TOTOシステムバスのほっカラリ床にも採用されています。



浴室床材(機能性資材事業)



OHフィルム(鉄道・バス・船舶・航空機内装材事業)

アーカイブ

当社は、時代の大きな流れをとらえ、インテリアメーカーとして貢献してまいりました。

1883年(明治16年)、大阪の住吉村(現在の住吉区)で創業し、1890年(明治23年)にカーペットを、1896年(明治29年)に鉄道車両のシート表皮材として使われるモケットの製造に日本で初めて成功、日本のインテリアのパイオニアメーカーとして、ライフスタイルの近代化と自動車・鉄道車両内装の発展に大きく貢献してまいりました。創業以来140年にわたり、幾多の多難を乗り越え、業界の先駆者として果敢に挑戦してきた歴史の1ページをご紹介します。



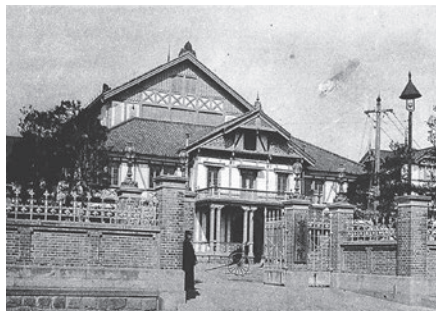
創業者 村田 伝七

明治 1883年～日本の近代化への貢献

文明開化によって西洋文化が流入した明治時代、当社は帝国議会議事堂(現国会議事堂)といった日本を代表する建築物や、国策によって進められた鉄道に内装材を納め、日本の近代化に貢献しました。

帝国議会議事堂

1891年(明治24年)、帝国議会議事堂開設時に絨通を納入。現在の国会議事堂にも、「国会の赤じゅうたん」や本会議場の椅子張地などを納入し続けています。



帝国議会議事堂(国立国会図書館蔵)



当時納入した絨通

路面電車

1895年(明治28年)、京都を走り始めた路面電車は、市民の足として各地に広がり、当社が大阪市営電気鉄道のシート表皮材に「市章」をデザインすると全国的なブームとなりました。



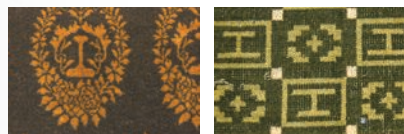
難波橋と大阪市営電気鉄道(国立国会図書館蔵)



京都電気鉄道

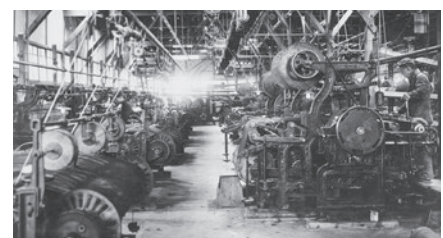
国鉄

1896年(明治29年)、シート表皮材として日本で初めて手織りによるワナモケットの製作に成功、1899年(明治32年)、国鉄で採用されました。



当時の国鉄シート表皮材

住吉工場建設



1903年(明治36年)、当社の主力工場として長年活躍した住吉工場を建設。

大正 1912年～

住江織物合資会社創立

1913年(大正2年)、住江織物合資会社を設立。法人としての住江織物の百年の歴史の第一歩が印されました。



帝国劇場

1915年(大正4年)、帝国劇場に椅子張地を納入。1966年(昭和41年)の大改装でも採用されました。



帝国劇場 舞台正面(国立国会図書館蔵)



帝国劇場 椅子張地

船舶

大正期、大阪商船(現商船三井)の一等室へカーペットを納入。昭和期には、日本の有名船の多くに当社の製品が採用されていました。



大阪商船 一等室カーペット



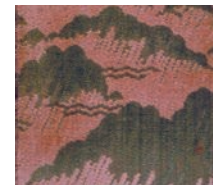
戦艦大和 艦長室用カーペット

昭和 1926年～インテリアの大衆化へ尽力

戦後復興と高度経済成長期には、当時高価だったカーペットの工業化を推進し、一般家庭での普及に努め、またモータリゼーションの勃興に合わせて日系自動車メーカーへ内装材を納める等、インテリアファブリックスの大衆化に尽力しました。

自動車産業

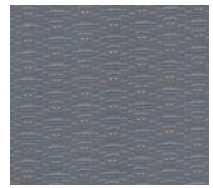
1931年(昭和6年)、フォード、ゼネラルモーターズが日本で組み立て生産をしていた自動車に、カーペットとシート表皮材を納入。1958年(昭和33年)、トヨタ自動車工業(現トヨタ自動車株式会社)にシート表皮材を納入したのを皮切りに、国内自動車メーカーから次々に採用されました。



日本ゼネラルモーターズシート表皮材



フォード フロアカーペット



トヨタクラウン シート表皮材



当時の宣伝用写真

フライング・フェザー

1955年(昭和30年)、当時自動車ボディ製造を手がけていた当社子会社「住江製作所」が、2シーターのオープンカー「フライング・フェザー」を製造しました。

住吉工場 行幸啓



1956年(昭和31年)、天皇・皇后両陛下、住吉工場行幸啓。

タフトン



見本帳

高度経済成長期、「タフトン」カーペットを発売。それまで高級品だったカーペットが、生活必需品となるきっかけを作りました。

昭和新冠殿「豊明殿」

1968年(昭和43年)、皇居宮殿のホールでは最大のスケールを誇る宴会場「豊明殿」に、日本画家 杉山寧氏原画の836m²の手織絨通を納入。



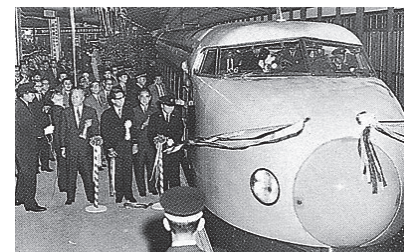
手織絨通

国内初のタイルカーペット

1980年(昭和55年)、奈良工場(現住江テクノ株式会社)で国内初のタイルカーペットの生産を開始。



新幹線



1964年(昭和39年)、東海道新幹線の開業と同時に「夢の超特急」と謳われた0系新幹線にシート表皮材を納入。



グリーン車 シート表皮材

平成 1989年～循環型社会への挑戦

K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)のテーマのもと、来るべき循環型社会を見据え、「水平循環型リサイクルタイルカーペット ECOS®」をはじめ、環境にやさしい商品を積極的に開発しています。

海外展開

1994年(平成6年)、タイに自動車内装材の製造会社を設立したのを皮切りに、米国、中国等、7カ国に拠点を広げ、グローバルな企業活動を展開。



トリプルフレッシュ®

1998年(平成10年)、ホルムアルデヒドや、たばこ、生ごみ、汗などの生活臭を24時間消臭し続ける「トリプルフレッシュ®」を開発。



空気を洗う壁紙®



Tispa®

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」

2011年(平成23年)発売。使用済みタイルカーペットから生成した再生材を原材料に新たなタイルカーペットを生み出す、世界最高水準の環境素材です。



創業130周年、会社創立100周年

2013年(平成25年)、当社は創業130周年、会社創立100周年を迎えました。

